

## 鯉岩

### 地上に落ちてきた魚

地すべりによってここまで流れてきたであろうこの大きな岩は、鯉岩として知られており、何世紀にもわたって中山道の旅に疲れた旅人の間ではよく知られた陸標でしたが、残念なことに、1891年の濃尾大地震でその飛び跳ねた魚を思わせる形が大きく損なわれてしまいました。このマグニチュード 8.0 の日本史上最大の内陸直下型地震によりこの岩が壊れ、その前方部分がほぼ直角に折れて落ちてしまいました。この看板には、1806年発行の木曾路名所図絵の鯉岩の当初の状態が描かれた版画の複製が掲げられています（岩の側面のヒレは、版画家が付け加えたものです）が、よく見ると、この岩の根元に魚の口のようなものを未だに認めることができます。